

科目名 「 歯科予防処置論Ⅲ 」

| | | |
|----------------------|---|-------|
| 学年 | 学期 | 科目責任者 |
| 2 | 前学期 | 門脇 明美 |
| 科目ナンバリング C-8-⑦-I-17 | | |
| 単位数 | 2 | |
| 学習目標 (GIO) | 予防的歯石除去法、齲蝕予防処置法において、歯科衛生士業務の予防処置を行うための知識、技能、態度を修得する。 | |
| 担当教員 | *門脇 明美, *岡元 明菜, *中澤 広美, *鷹巣 美香, *和田 由紀子 *小方頼昌*多田 充裕, *石橋 肇, *齋藤 真規 | |
| 教科書 | 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」第2版 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) プリント配布 | |
| 参考図書 | 新歯科衛生士教本「歯科予防処置」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版(株) | |
| 評価方法 (EV) | 実習評価：30% (実技評価20%・課題提出10%)，定期試験：70%で総合的に判断する。 | |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | 歯科衛生士の実務経験を活かし、歯科衛生士業務の一つである歯科予防処置論について説明する。後期から臨床実習を控えているため、各自手技の訓練と毎回の実習の振り返りを行い、次の実習へと臨み、実際の患者診療の総仕上げに向けての技術を修得してください。 | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容 | 担当教員 |
|-------------|--|---|-------------------|
| 第1回 4/8 | 小窩裂溝填塞法 フッ化ジアンミン銀 取り扱い グレーシースケーラーの シャープニング | <p>【授業の一般目標】 小窩裂溝填塞、フッ化ジアンミン銀、グレーシースケーラーの取り扱いができるようになるために知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴、有効性を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞法を実施できる。 3. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを理解する。 4. フッ化ジアンミン銀の取り扱いを習得する。 5. グレーシースケーラーの特徴を理解し、シャープニングを行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 V編1章③、「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」 II、5章、6章を読み、術式を確認しておくこと。シクルスケーラーのシャープニング方法を確認すること。 復習時間：60分、復習内容： グレーシースケーラーのシャープニングを確認しておくこと。小窩裂溝填塞法、フッ化ジアンミン銀について振り返り、実習記録用紙に記載すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p> | *門脇 *中澤 *鷹巣 |
| 第2回 4/15 | 相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 上顎 | <p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮し適切なキュレットスケーラー操作ができる。 2. 患者に配慮し、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学習項目】 予習時間：60分、予習内容： キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙を記載し、マネキンでキュレットスケーラー操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p> | *門脇 *中澤 *鷹巣 |

| | | | |
|---------------------|---|---|------------------------------------|
| <p>第3回 5/13</p> | <p>相互実習 キュレット スケーラー操作 ポケット測定 下顎</p> | <p>【授業の一般目標】 マネキン実習で身につけた技術により、生体でのキュレットスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者、補助者の経験を通じ、それぞれの立場での技術、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮し適切なキュレットスケーラー操作ができる。 2. 患者に配慮し、ポケット測定を行うことができる。 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを行う。</p> <p>【準備学習項目】 予習時間：60分、予習内容：キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙を記載し、マネキンでキュレットスケーラー操作の確認をすること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>*門脇 *中澤 *鷹巣</p> |
| <p>第4回 5/20</p> | <p>根分岐部における キュレット スケーラー操作</p> | <p>【授業の一般目標】 根分岐部に対するスケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 根分岐部の検査方法を説明できる。 2. 診査の結果を説明できる。 3. 根分岐部のスケーラー操作を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 予習時間：60分、予習内容：キュレットスケーラー操作、ポケット測定をマネキンにて十分復習すること。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキンにて操作の確認をすること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p> |
| <p>第5回 5/27</p> | <p>超音波スケーラー エアスケーラー 歯面清掃器 歯科予防処置時に 起こり得る不快事 項</p> | <p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面清掃器の操作ができるようになるために、知識、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 超音波スケーラーの種類と特徴を説明できる。 2. 超音波スケーラーの使用方法を説明できる。 3. エアスケーラーの種類と特徴を説明できる。 4. 歯面清掃器の目的、特徴を説明できる。 5. 歯面清掃器の使用方法を説明できる。 6. 不快事項に対する適切な対処方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章①、②を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容：超音波スケーラー、エアスケーラーについて確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 講義</p> | <p>*門脇</p> |

| | | | |
|---------------------|--------------------------------------|---|------------------------------------|
| <p>第6回 6/2</p> | <p>超音波 スケーラー エアスケーラー</p> | <p>【授業の一般目標】 超音波スケーラー、エアスケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 超音波スケーラーの使用方法が説明できる。 2. エアスケーラーの使用方法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容 第5回講義時の配布プリント、超音波スケーラー、エアスケーラー使用方法を確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 次回の相互実習に向けて、超音波スケーラーの使用方法を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習 ※6月3日 (火) 歯科保健指導論Ⅲと交換</p> | <p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p> |
| <p>第7回 6/10</p> | <p>相互実習 超音波スケーラー エアスケーラー</p> | <p>【授業の一般目標】 口腔内での超音波スケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し超音波スケーラー操作を適確に行うことができる。 患者：患者の立場を理解し術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮しアシスタントワークを行う。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 第5、6回の講義、実習内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 超音波スケーラーの使用方法を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p> |
| <p>第8回 6/17</p> | <p>相互実習 超音波スケーラー エアスケーラー</p> | <p>【授業の一般目標】 口腔内での超音波スケーラー操作ができるようになるために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し超音波スケーラー操作を適確に行うことができる。 患者：患者の立場を理解し術者、補助者時に役立てる。 補助者：術者、患者に配慮しアシスタントワークを行う。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 第5、6回の講義、実習内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 超音波スケーラーの使用方法を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p> |

| | | | |
|--|------------------------|--|---|
| <p>第9回 6/24 第10回 7/1 第11回 7/8</p> | <p>患者予備実習</p> | <p>【授業の一般目標】 臨床でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮した操作を行うことができる。 2. 口腔内観察を実施することができる。 3. 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 患者：術者を評価するとともに、患者体験を通じて術者として活かすことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキンにてスケーラー操作の確認をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>* 門脇 * 岡元 * 中澤 * 鷹巣 * 和田</p> |
| <p>第12回 7/15 第13回 7/22 第14回 7/29</p> | <p>父兄参加型実習</p> | <p>【授業の一般目標】 臨床でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：1. 患者に配慮した操作を行うことができる。 2. 口腔内観察を実施することができる。 3. 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 患者：術者を評価するとともに、患者体験を通じて術者として活かすことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、実習記録用紙に記載し、マネキンにてスケーラー操作をすること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>* 門脇 * 岡元 * 中澤 * 鷹巣 * 和田 * 小方 * 多田 * 石橋 * 齋藤</p> |
| <p>第15回 7/17</p> | <p>スケーリング 実技試験</p> | <p>【授業の一般目標】 臨床実習でスケーリング操作を行うために、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 術者：患者に配慮し安全な操作を行うことができる。 患者状況に適したブラッシング指導、保健指導を行うことができる。 補助者：患者に配慮した適切なアシスタントワークを行うことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：スケーリング操作、歯面研磨、歯周ポケット診査、予防管理室の流れを確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り、臨床実習に向け各自練習に励むこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 【学習方略 (LS)】 実習</p> | <p>* 門脇 * 岡元 * 中澤 * 鷹巣 * 和田</p> |